

農作物を守れ！モンキーハンター

Team C MonkeyHunter



はじめに

目標



野生動物による農作物被害をなくしたい

対応策



① 猟友会の巡回による追い払い、檻・罠の設置による捕獲

② 柵や緩衝帯による防御を徹底して、野生動物の侵入を防ぐ

③ 野生動物の動きを俯瞰して把握し、**出沒を予測して対処**

課題

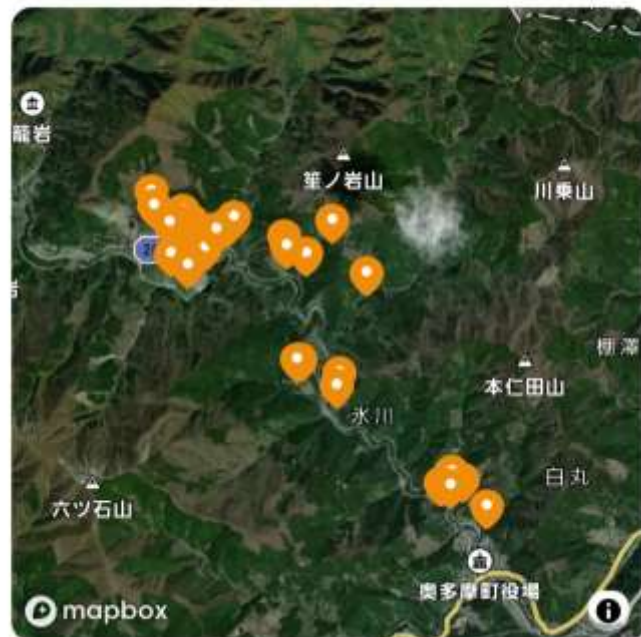


- 局所的な対応でしかなく、決定打にはならない。
- 山と集落との境界が長く、柵などの維持補修の手間が追い付かない。
- GPS発信機による捕捉とリアルタイムの情報提供には、**経費・人員が不足**

次に出沒する地点が予測できれば、対応しやすい。

はじめに 奥多摩町役場ご提供 サルのGPS発信機データ（※1群のみ）

三 サル行動範囲 2022年4月



サル位置（標高）

検索

21003050

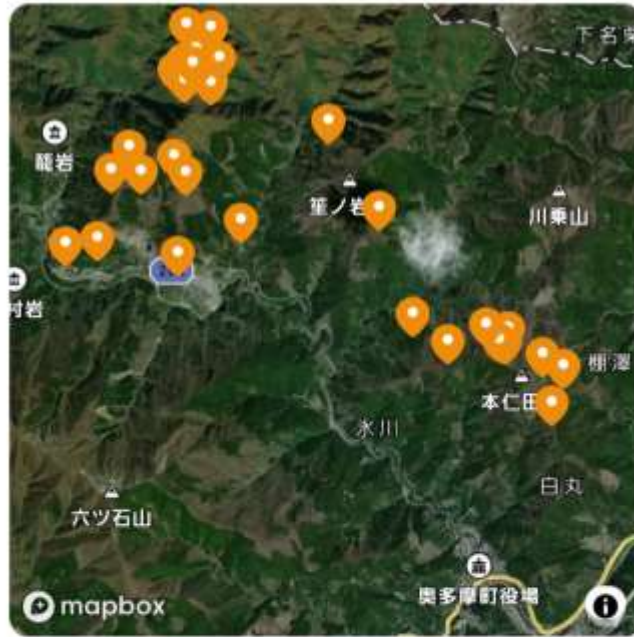
2022/04/01
0:01:00
419

2022/04/02
0:01:00
565

2022/04/03
0:01:00
556

報告カレンダー 被害報告マップ 報告一覧表 monkeyGPS

三 サル行動範囲 2022年11月



サル位置（標高）

検索

21003050

2022/11/01
0:01:00
1179

2022/11/02
0:01:00
1294

2022/11/03
0:01:00
1250

報告カレンダー 被害報告マップ 報告一覧表 monkeyGPS

サルの群れが、ゆっくりと
ある程度の範囲内を移動



被害情報を多数集めて

1. 獣種ごとに
2. 時系列で
3. 地図表示

して提供すれば

1-2か月先の出没予測に
活用できる可能性がある。



先手で対策が打てる！？

「害獣被害状況の捕捉と迅速な情報提供が難しい」

という課題に対して、

「住民が簡単に被害報告と共有ができるLINEbot」と、「リアルタイム被害状況マップ」

を作りました。

サマリー

課題

対象の自治体 奥多摩町

取組んだ課題

- ① 野生動物による被害情報の報告・共有の簡便化（いつでも、どこでも、簡単に）
- ② 被害記録に係る町職員の負担軽減及び被害履歴の可視化

解決策

プロダクト名

- ①奥多摩町害獣被害ネットワーク（獣害注意報アプリ） [住民用]
- ②奥多摩町獣害確認アプリ [町職員用 (公開も可)]

ツール分類

- ①LINEbot ②Webアプリ

プロダクト詳細

獣害に遭った時に、その場で**害獣の種類・位置情報・写真**を簡単に報告でき、
即座に町のDBに反映 + **登録住民へLINEで自動周知**して注意喚起
Webアプリ上（スマホ・PC）の**マップ・カレンダー・一覧表**で被害状況を確認できる。
被害記録の集計や周知の負担がゼロ（町職員の負担軽減）

完成度

現段階での完成度 95%



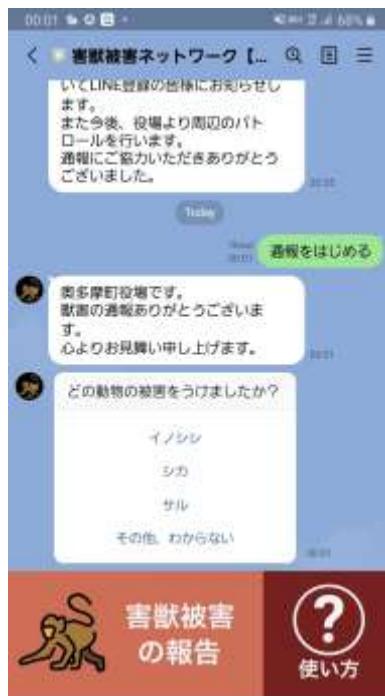
①奥多摩町害獣被害ネットワーク（獣害注意報アプリ） [住民用]

画面紹介

プロダクトイメージ

報告は6回タップするだけ！
文字入力は一切不要！

1. 通報をはじめる
2. 害獣の種類を選ぶ



3. 場所を選ぶ



4. 写真を撮る



5. 被害発生情報が登録者に通知



お試しくださいと
うれしいです！



※被害報告者に対して何らかの補償があれば、報告の動機に繋がります
※将来的に写真データが蓄積されれば、害獣の種類の判断支援も可能になります

②奥多摩町獣害確認アプリ [職員用]

画面紹介

プロダクトイメージ

- ・ 報告日時
- ・ 害獣の種類
- ・ 場所
- ・ 被害写真 を、

「地図」「カレンダー」「一覧表」
で表示
(絞り込みや検索も可能)



被害が集中する地点を
重点的に防御対策する等、
効率的な対策が取りやすい。



こちらから
お試しください！